

令和7年度 学校経営方針

1 基本方針

- 子供への愛情にあふれ、教師としての情熱と信念をもち、生徒の支援にあたる。
- 生徒の気持ちに寄り添い、生徒の良さや可能性を見いだす。
- 毎時間の授業を大切にし、わかる授業の実践に努める。
- 安心・安全で生徒が心穏やかに過ごせる学校づくりに努める。

2 教育目標

「時代に対応し、健康・知性・徳性・感性を備え持つ、調和のとれた心豊かな生徒の育成」

3 目指す生徒像

- (1) 他者の立場になって考え、行動できる「思いやりのある生徒」(絆)
- (2) 自己実現に向かって挑戦できる「自ら学ぶ生徒」(自立)
- (3) 困難に負けず、目標に向かって最後までやり抜く「強い心をもった生徒」(克己)

4 目指す学校像

- (1) 一人一人が活躍でき、自己肯定感を高めることができる学校
- (2) 安全で清潔感があり、安心して生活できる学校
- (3) 生徒・保護者・地域から信頼される開かれた学校

5 今年度の経営の重点

(1) 学習指導の改善と充実

- ①授業規律の確立と、基礎的・基本的な内容の着実な定着を図る。
- ②生徒指導の実践上の視点を生かしたわかる授業づくりを推進する。
- ③ICT機器の効果的な利活用をはじめ、生徒が自分の考えを表現できる場を増やす。

(2) 生徒指導と心の教育の充実

- ①「挨拶」「時間を守る」「適切な言動・身だしなみ」など、基本的な生活習慣の確立に努めると共に、個性の伸長を支援する。
- ②生徒理解に努めると共に、生徒が出すサインや困り感を見逃さず、生徒に寄り添った支援・指導を展開する。
- ③道徳科を中心に教育活動全体を通して道徳教育を充実させ、規範意識や相手を思いやる心を育成する。
- ④不登校や特別な支援を必要とする生徒に対する支援・指導体制を充実させる。

(3) 特別活動の充実

- ①生徒会活動や行事等において、生徒が主体的に取り組む場面を増やし、生徒のリーダー性や自己存在感、自尊感情を高める。
- ②学年経営を基幹とし、生徒一人一人が自己肯定感を高められるよう、生徒指導の実践上の視点を踏まえた学級づくりに努める。

(4) 信頼される開かれた学校づくりの推進

- ①学校だより、HP及びメール配信による情報発信と保護者、地域との連携を強化する。
- ②授業参観・保護者会及び面談・後援会活動への参加等で保護者との理解・連携を図る。
- ③学校運営協議会・学校評価を生かした学校経営に努める。

(5) 教職員のモラールアップと不祥事根絶

- ①校内・校外の研修に積極的に参加するとともに、研修内容の充実を図る。
- ②ボトムアップの取り組みを積極的に行い、活力ある職場を目指す。
- ③風通しの良い職場風土をめざし、不祥事根絶に努める。